

議会だより

しょうわ

2010.10.22

No. 147

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



がんばれ!
がんばれ!

特集 議会基本条例制定

21年度決算のあらまし ②

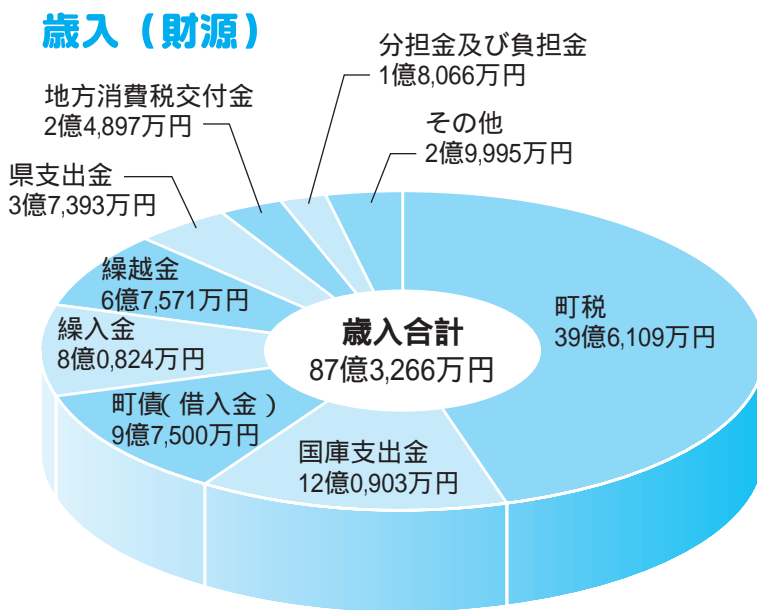
- 8議員が一般質問 ⑪
- 井戸端会議（住民・議員の対話集会） ⑳
- 委員会研修報告 ⑲
- 追跡 あの質問はどうなった ㉒

昭和保育園運動会

の成果を認定!

決算議会 9月定例会

平成22年9月定例会は、9月10日から24日まで15日間の会期で開かれました。この議会には町長提出の平成21年度一般会計および特別会計決算8件をはじめ、補正予算4件、条例の改正3件、人事1件、議員提出1件、委員会提出1件の合計18件が提出されました。このほか報告が3件ありました。

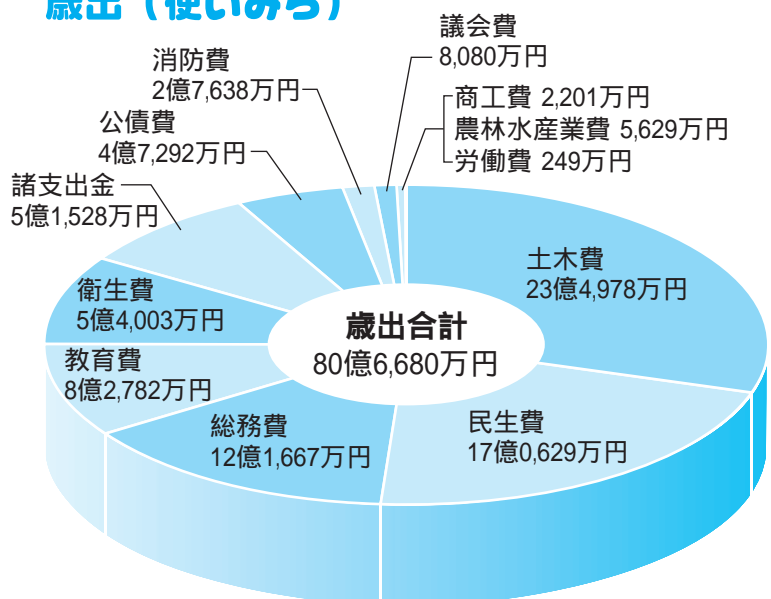


町民1人あたり
約47万円

特別会計を含めると
約68万円使いました。

H22.4.1現在
人口 17,016人

歳出（使いみち）



平成21年度決算のあらまし

一般会計は、約80億6,680万円、特別会計は、7つの会計を合わせて、約34億9,087万円となり、合計約115億5,768万円の歳出決算となりました。20年度と比べて約5%減少しています。これに対して歳入決算は歳出決算を約7億6,366万円上回る、約123億2,135万円となりましたが、税収は約6億1,568万円の減少となりました。


平成21年度一般会計 **80億**円

町債（借金）の累積残額	
[一般会計]	71億3,142万円 (1人当たり419,100円)
[国保会計]	1,241万円 (1人当たり729円)
[下水道事業]	63億0,788万1千円 (1人当たり370,702円)
<hr/>	
[合計]	134億4,782万円 (1人当たり790,304円)
基金（預金）の累積残額	
	28億3,971万円 (1人当たり166,884円)

歳入(財源)	87億3,266万円
歳出(使いみち)	80億6,680万円
繰越金	2億9,031万円
実質収支	3億7,554万円 (単位：千円以下切捨て)

〈一般会計のなかみ〉 町民1人あたり **1年間** このように使われました

教育費



48,650円
(- 21,742円)

()内は対前年度比

民生費



100,276円
(+5,578円)

総務費



71,502円
(+16,100円)

衛生費



31,737円
(+2,611円)

**公債費
(借金返済)**



27,793円
(- 706円)

土木費



138,093円
(+11,606円)

**農林水産業・
商工・労働費**



3,308円
(- 1,845円)

議会費



4,749円
(- 152円)

**諸支出金
(積立金ほか)**



30,282円
(- 37,498円)

21年度 決算質疑

下水道使用料の 滞納対策を

志村議員 下水道使用料の滞納・不納欠損が年々増えている。回収方法を考え直した方がよいのではないかと。

下水道課長 現年分の使用料・受益者負担金収納率は約95%だが、滞納分の収納率は14%程度。口座振替等の案内はするが、金融機関窓口に手続きをする時間がない方や、家計が苦しい時には滞納という感覚を持つ家庭もあり、切り替えが進まない。滞納整理を夜行うのだが、会えない家庭も多く、甲府市上下水道局との連携・コンビニ収納への検討・滞納の時効中断の方法など考えたい。

福島議員 不納欠損の対象者は、

下水道課長 現在昭和町に在住せず住民票もなく、

催告書を発送しても宛名不明で返送され、連絡も全く取れない方が対象。店舗等も同様。ただ、徴収は難しく努力している。

相談支援事業増 の原因は

河住議員 委託料の相談支援事業費が大きく金額が上がっているが。

福祉課長 相談支援事業費は、制度が浸透してきて相談が非常に増えている。20年が290件、21年が876件になっていて、どの市町村も件数が伸びている。二市一町の自立支援協

議会のなかでも今後のあり方について検討している。

人間ドッグの 補助額の検討は

浅川議員 人間ドッグは、

自己負担7千円に対し、町の補助が約3万円。人間ドッグ受診の要望が多ければ、他市町村を参考に、自己負担を上げ補助率を下げ、受診できる枠を増やしてもいいと思う。町の補助が厚すぎるのではないかとの意見もあるが。

角野町長 長い間、昭和町ではできるだけ負担しようということで行ってきた。続けていきたい考えだが、庁舎内でも協議し適切な判断をしていきたい。

各地区での自主 防災整備推進を

塩澤議員 議会と区長との意見交換会のなかで、自主防災会施設等整備補助金を延長して欲しいという話があったが、5地区だけの申請である。申請をして

いない区は積極的に整備指導をするべきではないか。企画財政課長 今年度も申請はあがってきているが、整備費は全額補助ではなく4分の1地区負担があるこ

ともあり、申請を考える地区もあると思う。今後区長会で制度をよく説明し、多くの整備をしてもらうように推進したい。



決算審査特別委員会

平成21年度特別会計決算

(単位：千円以下切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	15億8,691万円	15億2,451万円	14:1で可決
老人保健特別会計	2,582万円	2,463万円	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計	1億0,228万円	1億0,212万円	
介護保険特別会計	5億9,929万円	5億8,381万円	
介護サービス特別会計	1,194万円	1,123万円	
下水道事業特別会計	12億5,619万円	12億3,944万円	
渇水対策事業特別会計	621万円	511万円	

一般会計・国保特別会計(14:1で可決)の反対者は深澤議員

町財政は健全と評価

平成21年度昭和町財政健全化判断比率の報告

財政健全化法と、昭和町財政の健全化判断基準にもとづく、町の数値を、監査委員の意見を付して報告するものです。

財政力指数(3カ年平均)1.45

是正改善を要する点はなく、健全財政度は高い。
下水道事業特別会計についても良好な状態で、指摘すべき事項はない。

財政健全化判断比率 (%)

基準比較	実質公債費比率	将来負担比率
昭和町	8.9	53.2
県平均	14.6	92.5
甲府市	15.2	91.5
中央市	14.5	76.0
甲斐市	14.4	58.7
南アルプス市	15.6	95.1

実質公債費比率(少ないほど良い)

町の標準財政規模(約50億7,056万円)に占める借金返済額を示す率。18%を超えると、起債(借金)の際に知事の許可が必要。25%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

将来負担比率

市町村が将来返済しなければならない負債の標準財政規模に対する割合を示した率。350%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

実質赤字比率・連結赤字比率は、赤字団体ではないので、数値はない。
公営企業の資金不足比率についても、資金不足はないので数値はない。

21年度決算

監査委員の決算審査意見

事業仕分けも検討し
健全財政取り組みを

監査委員

内藤 寛之
山田 昇

平成22年8月11日から18日まで審査した。

審査の結果および意見

各決算とも適法、正確に処理されており、内容も適正なものとの認めた。

経常経費をはじめ経費の節減、各種事務の合理化などに全庁的取り組みを期待。

町民税をはじめ固定資産税、国保税、介護保険料、給食費、町営住宅使用料、下水道使用料などの滞納が年々増加し、不納欠損額も多大。全庁挙げてより一層の工夫と努力を期待。後期高齢者医療特別会計予算の編成において、歳入見込みを的確に。

22年度も大きな事業が多いので、担当課は事業の進行状況を的確に把握して完成が遅れないよう、繰越事業の減少に努められたい。

年度末に不用額が発生する課があるが、早めに減額補正すべき。

不交付団体の本町においても、年々義務的経費、扶助費、補助金が増加し、基金の取崩しなど財政運営は厳しい。事業推進は地域の実態と住民の意向や要望を把握し、中・長期的な財政計画のもとに、第四次行財政改革を推進し、事業仕分けのことも検討し、健全財政の取り組みになお一層の努力を期待する。

条例を制定

コンパクトシティにふさわしい議員の心構えを決めました

この条例は、議員として守らなければならないことなど、当たり前のことを条文として表し、従来から「慣行」として行っていた事柄などを改革することで、議員としての心構えを改めて確認するためのものです。議員の心構えは、いかに制度や組織が整備されても議会を運営する者の心構え

がなければ生かされません。また、町民の皆さんにも条例の理解が得られなければ無意味なものとなります。議会自らが二元代表性の一翼として理念や責務を明確にし、発信していくことが重要で、議会の原点に立ち返って考える意味でも、基本条例の制定は意義があります。



全員賛成で可決

経過

35回にわたる検討

平成21年11月の議会改革推進会議で、「条例制定」の必要性が確認されてから、これまで35回にわたる検討を重ねました。今まで行なった議会改革を整理・反映させると同時に、町民の代表としての議会の役割と活動の指針を、町民に明らかにするものです。

昭和町議会基本条例の特徴

議決責任

執行部と共に結果責任を負う議会の「議決責任」を明記。議員には、議決した責任が伴います。

ら井戸端会議などと銘打ち行ってきましたが、住民の声を反映させるために継続したいと考えています。

倫理規定

議員が「原則として区長などの地区の代表や町からの補助金を受ける団体の代表に就任しない」ことを明記しています。

議員の質問に対する町長等の「逆質問権」を明記。議長から本会議および委員会への出席を要請された町長等は、議長または委員長長の許可を得て、議員の質問に対して逆に質問することができず。

議会報告会、意見交換会の開催

議会は、町政の諸課題に柔軟に対処するため、町政全般にわたって、議員と町民とが自由に情報や意見を交換する議会報告会を行います。既に、平成19年度か

執行部側への逆質問権の付与が、議員自身の資質向上につながります。すべての会議を原則公開開かれた議会を目指し、すべての会議を原則傍聴可能にします。

議会改革
特集

新たな決意で!!

議会基本



地方分権対策特別委員長

三井 猛

議会基本条例の制定にあたり

昭和町議会では、この4年間議会改革に取り組んできました。

山梨学院大との連携や井戸端会議、そして今年初めて開催しました議会報告会もその一環であります。この「昭和町議会基本条例」につきましては、昨年12月の定例議会ですべて、全議員賛同のもと制定することを決定し、条例制定小委員会を立ち上げ検討に着手しました。

地方分権化社会への移行により、自己決定・自己責任を担う自治体において、議会や議員の活動原則はどうあるべきか、また、町民や行政との関係、政治倫理など基本的な事柄を定め、町民の代表としての役割や指針など明文化したものであります。

町民に信頼され、開かれた議会を目指し、昭和町にふさわしい議会基本条例について、地方分権対策特別委員会や全議員協議会で条文の修正や追加・削除など、何回も討議・検討を重ね、パブリックコメントにより多くの町民の皆様のご意見をいただき、延べ35回による議論を経て、今議会に委員会提出条例として提出し、全員一致で可決しました。

条例は10月1日より施行されましたが、今後はこの条例を議員全員で着実に実行し、また、検証する中で議会活性化や議員としての資質向上を図っていきたいと思っております。

9 月定例会で 決まったこと

平成22年度補正予算

一般会計補正予算

総額 3億450万円を増額
69億8、657万円に

国民健康保険特別会計

補正増額 899万円
総額 14億5,585万円

老人保健特別会計

補正増額 127万円
総額 205万円
繰越金 119万円

介護保険特別会計

補正増額 2,236万円
総額 6億1,946万円
繰越金 1,548万円

全員賛成で可決

補正財源
景気低迷による個人町民税を減額、国庫お
よび県支出金は1、200万円増額。
繰越金の増額3億4、554万円と、
政対策債（借入金）1、200万円、
臨時財

おもな使いみち

基金への積立金(貯金)	2億1,194万円
小規模福祉施設 スプリンクラー整備	540万円
押原中学校プール改修費	3,845万円
温水プール工事費	533万円
杉浦邸関連経費	2,258万円

全員賛成で可決

条例の改正

町税条例
地方税法の改正に伴う改
正。

町議会議員の費用弁償に
関する条例

議員に支給される手当の
対象を「県外への出張に限
る」と改めるもの。

職員給与条例

地区担当職員の時間外勤
務手当の額を一律とするも
の。

全員賛成で可決

人事

監査委員の選任
平成22年12月5日付で
石原政彦氏を選任。



石原政彦氏
(西条二区)

全員賛成で同意

議員提出

議員県外視察研修

県外先進事例を調査・研
究し、町の発展に資するこ

委員会提出
議会基本条例の制定
開かれた議会を目指し、
果たすべき責務や監視機能を
調査機能・政策形成機能を
強化し、議員の資質向上と
議会改革推進のため、地方
自治法の規定に基づき提出
するもの。(P6に特集)
全員賛成で可決

請願

森林・林業再生プランの実現に向けた意見書
の提出を求める請願
・ 請願者 全国林野関連労働組合関東地
方本部山梨分会
執行委員長 平野 辰典

・ 紹介議員 深澤 平助
全員賛成で採択

意見書

森林・林業再生プランの実現に向けた意見書案)
全員賛成で可決
(提出先) 農林水産大臣・林野庁長官

● 押原公園の 事業見直しは？



押原公園の噴水広場

河住議員 縁路をクッションに代えたが、管理費用は。パブリックコメントは何件か。都市整備課長 管理費用はまだ未定。パブリックコメントは28件で、その成果はクッション化・公園のシンボルとなる大型コンビネーション遊具・噴水広場の設置など。福島議員 防災拠点整備の今後の考えは。角野町長 防災公園としてひと通りの整備は完成している。災害時は仮設住宅などで対応

● 西条児童館 増築はいつか？



西条児童館のじどうかんまつり

河田議員 子どもの安全性は大丈夫なのか。総務課長 増築でも耐震診断は必要ないが、既存建物として通常堪えうるかの調査が、既存建物不適合調査報告書という。既存建物が不適合ではないので安全性には問題ない。三井議員 児童館の着工はいつか。待機児童のためにも早く着工してほしい。福祉課長 年度内完成を考えて着工をする。

● 税条例改正の 影響は？



あなたはどうしますか？

深澤議員 改正で町税に影響があるか。また、たばこ税も増税されるがどう変わるか。税務課長 中学生までの扶養控除廃止に伴い町税は増える。約5、000万円増える見込み。特定扶養の高校生は、約300万円の増税見込み。たばこ税は、今まで通りの販売であれば、4割ちかく増収する。タバコのまとめ買いしている人も多いので、10月以降は税込減、禁煙者の数で変わると思う。見通しが難しい。

● 常永地区井戸 汚染の推移は？

田中議員 有害物質については年1回の調査をしているが、採取の水深とその後の処理は。野中議員 発生源近くの築地で調査しているか。環境経済課長 細かい水深は把握していないが浅井戸で調査。汚染元は井戸10m、毎日115トン汲み上げて曝気処理している。築地新居地内でも調査している。

用語解説

ばっき
曝気

水を空気にさらし、水中の微生物有機物の分解を促進させる浄水処理の方法。

● 農業振興地域保全 助成金の申請率が 低いのは？

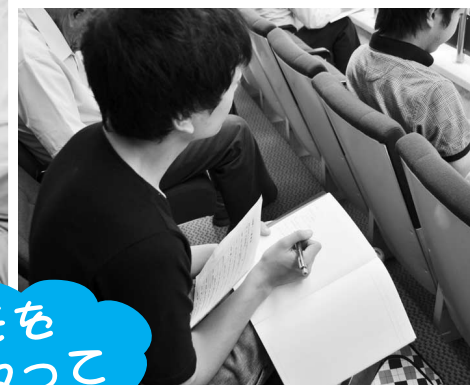
遠藤議員 申請率が低いのは。補助金額上げは考えているか。環境経済課長 台帳上の田んぼで耕作している人が少なかったこと、国の戸別所得法制度で転作が多くなったのが一因。検討する中で補助単価は考える。

休日議会を開催

今回の一般質問は6年ぶりに9月11日(土)に行いました。
普段、仕事等で平日では議場に来られない方にも傍聴していただき、
議会を知ってもらえる機会になったのではないかと思います。



へ～
そうなんだ



メモを
取って

インタビュー してみました!

休日議会を傍聴してみて
20代 町内男性

Q 今回議会を傍聴しようと思ったのはなぜですか？

A 土曜日議会ということと、今まで議会等を傍聴したことがなかったためです。

Q 傍聴して、どんな印象や感想ですか？

A 傍聴の前に、町が取り組んでいること等について、事前知識があると興味深く質問が聞けると感じました。質問者が質問席に立つ際にも、手元の資料ばかりを見ていたのは残念でした。

Q 気になる質問はありましたか？

A 税額等の基準日について。

ありがとうございました。
みなさんも傍聴に来て生の質問を聞いてみませんか。
詳しい日程は、HP等でお知らせしますので、興味がある方は昭和町役場の議場まで傍聴どうぞ。

施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員



河西区に新しくできた施設

Q 介護保険の

問題点・課題は

深澤

介護保険制度が施行され10年が経過した。利用料や保険料が重く、特別養護老人ホームの待機者問題など、多くの見直しが求められている。

町でも見直すべき点を明らかにし、国に求める点や町独自で改める点の究明が必要だ。町として介護保険の問題点は何か、そのための対策等を考えているのか。

A 問題点を総体的に検討、計画に反映

町長

介護保険は、年々の充実で保険料の大幅な上昇も見込まれ、制度維持の可能性が大きな課題となっており、膨らむ需要に対応する介護保険制度をどう見直すか、社会全体で支える仕組みが岐路に立たされている。

再質問

深澤

介護支援センターの3人体制の確立、保険料の減免、特別養護老人ホームの待機者解消は、第5期事業計画を待たずに取り組むべきだ。

町長

支援センター体制整備は、保健師・ケアマネの資格者が必要。組織充実のため努力する。

いきいき健康課長

4期の計画で低所得者の軽減に努めたが、国の制度改正で利用料等にも影響が出たため、総体的に取り組みたい。特養待機者問題では、介護保険事業計画の見直しを行い、地域密着型の施設計画を検討する。

現行制度の国庫負担金の引き上げなどで、保険料・利用料の抑制ができるよう柔軟な制度改正が大事だが、国の動向を見据え、第5期介護保険事業計画の中で問題点を総体的に検討し、計画に反映していきたい。

国民健康保険の レセプト点検は

医療費支払いの根拠となるレセプト点検では、年間で何枚くらいあり、どのように点検しているのか。また、各点検の返戻・過誤請求の件数、1人当たりの財政効果額がどのくらいあったかや、重複、多受診・過剰な投薬などの医療費増加を抑えるため、レセプト点検の具体的強化策などを聞く。

三井 昭和町6、929世帯は2、653世帯で、国保加入世帯納世帯は621世帯、現年の収納率86・8%、金額で6、562万円の収入未済金がある。デフレ不況などでさらに収納率低下が懸念されるが、医療費の適正化も大切だ。



三井 猛 議員



審査を待つレセプト

A 医療費適正化の 推進に努める

町長

レセプト点検業務は、将来的に効き目が表れる保健事業と異なり、結果をただちに数値で確認でき、財政的にも直接効果が表れるため、国保財政の健全化につながり、医療費適正化対策の出発点ともいえる。

レセプト枚数は20年度の実績で6万314枚、過誤調整や返納金等は780件あり、被保険者1人当たりの財政効果額は1、093円となっている。国保連合会との連携を密にし、新たに電子データ化した業務運用に変更される予定で、点検体制の整備、事務処理負担の軽減や医療費適正化のさらなる推進に努めていきたい。

再質問

三井

被保険者の医療費の実態は把握できているが、重複・多受診者は何人くらいか、治療や健康に対し、意識を高める取り組みは。

町民窓口課長

人数把握はしていないが、保健指導に上げる必要や、ジェネリック医薬品の使用推進にも努めていきたい。

用語解説

レセプト

患者が受けた診療について医療機関が保険者(市町村や健康保険組合等)に請求する医療費の明細書のこと

Q 将来を見据えた学区 区分けの考え方は

区分けの考え方は

萩原

本町の小中学生数は、少数だが毎年増加している。各学校の児童数の比較では押原小が少なく、

押原地区は地域的に増える要素が少ない。緊急な課題として、均衡の取れた教育をするためにも、西条小と押原小の学区の区分けを考える必要がある。総合的に見地から、町民をメンバーに入れた検討委員会を立ち上げる必要がある。町の具体的な考えを聞きたい。



はぎはら 萩原 議員

21年度各学校の生徒数 単位：人（平成22年3月31日現在）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
押原小	41	44	60	48	54	46	293
西条小	81	75	96	73	88	78	491
常永小	43	66	56	50	68	60	343
押原中	183	178	195				556
甲府委託小学生	7	7	7	8	4	10	43
甲府委託中学生	11	11	9				31

A 開発許可制度を 見据え研究

見据え研究

町長

本町は従来から行政区単位で就学校の指定をしてきたが、学区変更は通学距離、通学時間等の負担度や、地域とのつながり、学校施設や教育環境などの検討が必要になる。

将来的には都市計画の事務権限の委譲や、調整区域内の開発許可制度見直しを研究する中で、各地区の児童生徒の推移を把握し、教育委員会において学校関係者、有識者の意見を伺い、情報収集や協議をしながら対応していきたい。

再質問

萩原

均衡の取れた児童数確保のため、検討委員会の立ち上げや、学区内宅地残存地の洗い出し、利用促進策も必要だ。

町長

学校規模の適正化と施設整備は常に検討し、見直しが必要だ。通学方法も最良の方法を検討したい。残存地洗い出しも今後の課題だ。

関連質問

保坂

清水新居区で甲府市へ通学する児童生徒の位置づけは。

甲府に通う生徒は、入学時に町内小学校の情報が手に入らなかったと聞くが。

教育長

当面は現状の制度で、状況を見守りたい。清水新居区には新入学児童の就学時検診の時に学校を選択できることを伝えている。今後、早い時点での情報提供を検討する。

関連質問

河住

教育委員会がつくった昭和町教育行政方針の5年計画で、必要に応じ通学区域の適正化を検討するという項目があるが、この課題はどのように、町長の答弁と整合させるか。

教育長

計画ではそういう日程で進めるとのことだが、区画整理事業もずれ込んでおり、少子化の問題も見えている。計画見直しをする部分もあるので、答弁にあつたように、時期を見ながら再度検討していく。

Q一人暮らしも安心して暮らせる社会を

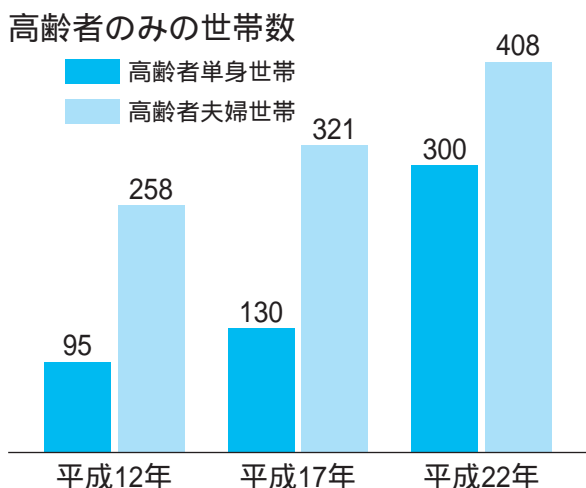
河田 100歳以上の高齢者行方不明問題をきつかけに、単独世帯の安否確認が急務となった。本町でも核家族世帯が増え1人暮らしの高齢者は増加傾向である。今年3月、町では誰もが安心して暮らせる地域社会実現のため「地域福祉活動計画」を策定したが、今後計画を実行する上で、公的な安全網と地域社会の繋がりをどのように強化していくのか。

A見守り連絡システムの構築

町長 100歳以上の高齢者の所在不明は昭和町ではなかったが、高齢者や単独世帯にGIS（地理情報システム）を利用した、見守り連絡システムの構築や、ボランティア組織との環境づくり、孤立しないための「いきいきふれあいサロン」の拡充、人的ネットワークの加入促進に積極的に努め、地域社会のつながりを強化していきたい。



かわた 河田あけみ 議員



A町県民税の6月課税を準備中

町長 地方税法では6月課税が基本だが、本町では6月が田植え時期で農業所得者の収入が少なくなることを「特別な事情」とし、7月納期を定めてきた。しかし定められた当初とは所得の種類も変わり、6月課税でも住民サービスが低下するようないことはないと思う。今後、国税連携と移行できるように準備を行い、24年度より第1期の納期を7月から6月に改正するよう、準備を進めていく。

Q税額等の基準日は

河田 現在「税額等の納期日」は、6月を第1期としている市町村がほとんどだが、本町では7月となっている。これにより各種申請書類の締切日に間に合わないという不都合な場合もある。本町の「税額等の納期日」の根拠と6月とした場合住民サービスが低下するようないことはあるのか。

Q 児童生徒の優れた個性の顕彰制度を

河住 子どもの健全育成は家庭ばかりでなく、社会の責任でもある。教育の荒廃が伝えられる今日、人間は誰でも良い面を持っているので、児童生徒の優れた個性を発見し、その面を伸ばすことが健全育成に効果が大であると考える。校長から教育委員会、そして町長に上申し、児童全生徒を表彰することについてどう考えるか。

A 家庭・地域で子どもの行動注視を

教育長 子どもの良いところを見つけて表彰し、地域ぐるみで育てることは、比較的人口の少ない自治体で制定している。本町ですべての子を表彰するのではなく、善行や他の模範となる児童生徒や団体があれば、表彰していきたい。家庭や地域の大人が、一人ひとりの子どもの行動に注視し、ほめていただくことをお願いしたい。



西条小運動会リレー

Q 事業仕分けの導入は

河住 予算編成にあたり、公開の場で町民や有識者の意見を聞く等、事業仕分けを導入する考えはないか。

A パブリックコメント等を活用し見直す

町長 この自治体も厳しい財政状況の中、行政評価や事務事業の評価をしている。町では予算編成時、現場に近い担当課が町民ニーズや実態を把握し、町長査定時に事業の適否を審査し、決定したものを提出させていただいている。現状では事業仕分けは実施せず、パブリックコメントの活用や審議会の設置等、多方面からの意見や有識者の意見を取り入れ、事業執行や見直しをしていきたい。

再質問

河住 事業執行や見直しは、町民ニーズをどのように把握するのか、社会保障関連経費や歳入確保は、すでに押原公園、町営住宅、町民体育館の大型事業の見直し、人間ドック定員増の拡充見直し等を行った。社会保障関連経費は増加傾向だが、新たな税収確保や、企業撤退による税収減を防いでいきたい。

総務課長 職員が常に事業の必要性・コストを考え、地区担当職員制度でも、町民ニーズの把握に努めていきたい。



河住 保茂 議員

Q 防犯街路灯・歩道 灯の保守管理は

田中 電柱に防犯街路灯や歩道灯が設置され、各区の経費で新設や保守管理が行われている。紙漕阿原区では消防団が年2回出動し、ボランティアで電球の交換・清掃を行っている。町の12区では区の管理が8区、交通安全協会管理が1区、区の管理で業者委託が1区となっている。街路灯は夜間安全・安心して通行できるのが目的である。水銀灯は町管理だが、区の経費負担も大きくなっており、防犯街路灯も同様に町で維持管理ができないか。



区で管理されている防犯街路灯



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

A 区の実態を調査し 検討する

町長 防犯灯は安全・安心なまちづくりのために、大きな役割を果たしている。防犯灯の設置や管理手法は、昭和36年に閣議決定された「防犯灯等整備対策要綱」に基づき、多くの市町村が本町と同様な自治会が維持管理し、行政がその費用を補助する方式を採用し、現在に至っている。

防犯灯は長年、各区が自主的・主体的に維持管理に努め、地域の防犯対策に大変貢献してきた制度でもあり、今後とも、地域事情を把握している各区で、設置・維持管理の役割を引き続き担っていただきたい。防犯灯の新設・移設工事に対し補助金を交付し、維持管理費は今年度から「地域力活性化交付金」に含め補助している。しかし、蛍光灯の交換等の作業や費用の面で、区の負担が大きいのであれば、区長会等を通じ、地域の実態を調査し、検討したい。

市街化調整区域内の 宅地課税の現状は



志村 茂 議員

志村 町では昭和バイパスを始め、市川大門線沿線には、数多くの商業店舗が建設され、町財政の土地課税の一翼を担っている。近年は商業店舗に付随し、プレハブ等が建設されており、実際には現状把握できない実態となっている。急速に都市化が進む一方、景気悪化で廃業された建物も散見され、草の繁茂した調整区域内での宅地課税された土地も、新規に家屋等が建築できない現状だ。調整区域内の宅地課税をしている土地は、町独自の権限で建築ができるよう対応策を考え、沿道に草の繁茂や廃業建築物がないまちづくりを目指したかどうか。

A 廃業後の建築物は 対応・処理が困難

町長

市街化調整区域内の建築物の建築は、都市計画法や建築基準法の規制があり、個々の状況や宅地になった理由などを判断する必要がある。場合によっては、近隣住民の利便施設や、農家用住宅の建築などは、農地でも新規に許可される場合もある。

開発許可は許可権限が県にあり、建築は特定行政庁で、権限移譲を受けるにしても、都市計画法の基準や区域を条例で定める等、都市計画法の法令に沿って行う必要があるため、町独自の対応策を考えるのは非常に難しい。

また、草の繁茂は「空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」に基づき処理し、廃業後の建築物はあくまでも個人財産のため、公共に危険を及ぼす等の恐れがない限り、行政では対応が難しい。

再質問

志村

廃業後の建築物は、行政で強力に対応することや、転用許可時に廃業時のことも含め許可を出し、最後まで見届ける責任があるのでは。

都市整備課長

開発許可では、事業の実現性も検討されるが、個人資産に行政が手を加えたり、処分もできない。最後まで見届けるのも現実的に不可能で、限界もある。



雑草の荒れ地と住宅地が並ぶ

Q 今後の町政執行は

山田 角野町長の就任後、今まで以上に喜びと誇りを感じる町となり、取り組みを高く評価している。町の良さを次世代に引き継いでいくためには、住民総参加の対話型町政を行うことができる舵取り役が必要である。町長に2期目の出馬要請をしている団体も多数あると聞くが、町長は今後の町政執行についてどのように考えているのか。



やま だ のほる
山田 昇 議員



決意表明する町長

A 課題山積 2期目に取り組みたい

町長 常永土地区画整理事業や大型事業の見直し、財政の健全化を図りながら、昭和町の発展を願って町政を執行してきた。

社会情勢が著しく変化する時代、地方自治体は限られた人材と財源で、効率的なまちづくりを行う必要がある。協働のまちづくりのため、行政が地域に飛び出し、町民ニーズを把握して町政執行を行うことが重要だ。行政区制度改革も進めているが、改革の成果はすぐには表れず、今後も地区役員と連携を図り、継続していく必要がある。公約に掲げた財政健全化は、サービス低下をさせずに削減した。人材育成基本方針策定・人事評価制度の導入にも取り組んでいるが、まだ重要な課題が山積しており、2期目の町政執行を目指し、緑と歴史・文化を大切にしたい。「小さくてもきらりと輝くコンパクトシティー」実現に取り組みたい。

委員会研修報告

教育厚生常任委員会

平成22年8月27日

西条一区の井戸端会議で話題となった危険な交差点の現地調査を行いました。

場所はイトーヨーカドー横の交通量の多い交差点です。改善要望を受け、地区の議員・教育厚生常任委員6名、区長、交通安全指導員などが、100人弱の児童の通学時間帯にあわせて現地調査した結果、

- 1、通学時間帯だけでも横断歩道の青信号の時間を少しでも長くする。
- 2、車道の信号機に右折矢



登校班を見守りながら

印の信号を要望する。
3、スクランブル交差点に要望する。

などの必要性が感じられたので、安協と地区の連名で要望書を出してもらおうようお願いしています。

(委員長 保坂明子・記)

産業土木常任委員会

平成22年8月31日

押越区の井戸端会議で話題になった押原公園の太陽光発電による街路灯の現地調査を行いました。場所は、押原公園北側です。「この照明は他の夜間照明とちがい、なかなか点灯しないあたりが真つ暗になったころ点灯するが、それもほんのりと薄暗い」という改善



街路灯の確認

要望を受け、区長・浅川議長と産業土木常任委員5名は、押原公園の付近を調査しました。

調査結果は、夕方で住民も多くいましたが、状況を

訴えるように確かに暗いものでした。改善の余地があると感じましたので、委員会で町当局に要請することを検討しています。

(委員長 野中敏美・記)

学んだことを誌面に

全国町村議会広報研修会に参加して

広報編集特別委員会

平成22年8月25～26日

猛暑の8月、第72回町村議会広報研修会（東京都砂防会館）に広報委員全員で参加しました。

た最近では視覚で訴える誌面が増えてきているが、技術に走りすぎず中身がまず読みやすいことを優先すべきとの指摘もありました。

今回の研修では、講師の城市創氏による15町村の議会広報クリニックスを、大変興味深く聞くことができました。各広報を見ながら、表紙写真で何をアピールしたいのか、読みたくなるタイトルへの付け方、横書き縦書きの工夫、見出しが住民目線になっているか、町の広報紙との違いをどう出していくか、使ってはならない表現など、細部にわたるチエックをされました。ま

私たち委員は、広報紙の目的は何より議会活動を正しくわかりやすく伝えようと努力していますが、もう一度原点に戻り、校正の段階での丁寧なチエックが必要と実感しました。

今回の研修を生かして、今後も住民の皆さまの多くに読んでいただけるような議会広報を目指して努力していきます。

(委員長 河田あけみ・記)

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次回の開催予定

- 10月28日(木) 紙漕阿原区
- 11月 1日(月) 西条二区
- 11月13日(土) 上河東区

2年目を迎えた井戸端会議。昨年よりさらに地域の悩みや声を聴いて、町議会の役割として、議論・調査・研究を進め、住民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指します。

井戸端会議で出された意見・要望は、結果報告書として区長に提出します。問題の中には、大きな財政支出が伴うものや昭和町だけではどうにもできないものもあり、すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にあって課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

西条二区(第4回)

7月21日 西条彩の広場管理棟

出席者 西条一区民 30人
 参加議員 6人
 教育厚生常任委員会
 保坂明子委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 窓が二重サッシだと防災無線が聞こえにくい。難聴地区解消とあわせ、安心安全マップを送り、希望者にメール送信することはできないか。

A 窓を開けるか家の外で放送を聞くようにお願いしたい。基本的に防災に係わる緊急放送であり、安心安全マップは職員入力で夜間・休日等は対応できないので、携帯電話にメールする予定はない。放送を聞き漏らした場合、電話で放送の内容を聞くことができます(27519003または27519004)

Q 西条小の校庭も芝生化を進めて欲しい。

A 今年6月、試験的に押原小グラウンド周りに芝生を植栽した。芝生植栽の経過や結果を見て検討したい。

Q 大地震が心配だが、高齢者の命を救うネットワーク作りがどこまで進んでいるか。要援護者の登



窓が二重サッシで防災無線が聞きにくい

録カードなど作っていないのか。
 A 各区の民生委員が、要援護者の登録カードで承知している。民生委員だけでなく、区の自主防災会の中で考える必要がある。組長さんを中心にネットワークを作ること大切だ。

河西区(第5回)

7月24日 河西区公会堂

出席者 河西区民 28人
参加議員 6人
総務常任委員会
福島正明委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 4月から区の交付金が一括になったが、現在の状況は、毎年同じ計画で予算計上すると思うが、区の独自性が出てこない。行政側もチェックを。

A 6事業1本化の交付金、運動会も敬老会も例年通りの予算で申請する区がほとんど。新たな取り組み事業を始めるのはまだ難しい。急な変化は難しいが、各区の状況で考えていっていると思う。

Q イオンモール出店で経済効果は？昭和町は県で唯一の不交付団体だが、厳しい状態での不交付か、余力があつての不交付か。町の将来の見通しと、町の借金は？

A イオンの事業計画は83%、約3,500人の計画人口。イオンの税収見込み約3億円、周囲の出店で税収は多くなる。昭和59年から不交付団体だが、町の預金は一人当たり約11万円、借金は一人当たり約42万円。ここ10年、大きな

イオンモール出店で経済効果は？



事業が続き借金も多くなっているが、将来は減る予測。不交付団体だが、税収的にはかなり落ち込んでいる。

Q 昭和町でも温泉が湧いているのだから、大きい施設で高齢者も利用しやすい温泉施設にして欲しい。

A 施設の建て替えは財政的に厳しい。町では火・木曜日にバスを出している。社協には条件付きだが、100円で往復自宅まで迎えにくるサービスがある。制度を利用し、今の温泉を楽しんで欲しい。

押越区(第6回)

8月21日 押越区第一公会堂

出席者 押越区民 35人
参加議員 8人
産業土木常任委員会
野中敏美委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 町の税収は年々減ってきている。国も事業仕分けをしているが、町では、行政の事業仕分けを考えているか。議員の考えは？

A 財政的に厳しくなっている。不納欠損が多く対応に苦慮している。不交付団体は昭和町だけだが、節約をあらゆるところでしている。住民サービスは他市町村に負けていないが、今後厳しい情勢は間違いない。9月定例会で、河住議員が当局に事業仕分けについて質問している(P15参照)。

Q 周りの市町村は議員定数を減らしているが、昭和町議会の議員定数はどうか。議員の意見を聞きたい。

A 実際に議会の中で検討した。全議員の意見・学院大教授との研修で、住民の声を行政に反映し、住民主体の行政運営のためには、決して多い定数ではない。住民代表として3つの委員会が議論する

町でも事業仕分け考えてますか？



ため、最低5人から7人の人数が必要で、いまの定数でよいとの結論になり、次の選挙は16人のままになった。

Q 工業団地に行く通勤車が、押越区の住宅地内をとばして通る。スクールゾーン化も含めて規制はできないか。

A 一部の道路に規制をかけると、他にまわって通ることも想定される。押越区で、どんな対応策があるか意見集約してほしい。委員会として現地調査していきたい。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議会からの要望や議員の質問に、当局がその後どのように対応し、
どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡②

災害時の 救援活動に若い力を

(平成22年6月議会 質問者:樋口敏夫議員)



協定調印式

問 災害時、町の職員や各行政区役員だけでは足りないくらい、多くのボランティアが必要だ。阪神淡路大震災の時、高校生が大いに復興に貢献したと聞く。

西条地区の避難所である地元の甲府昭和高校と、災害時における協働体制に基づく救援活動の協定を結ぶ考えはあるか。

答 都留市では社会福祉協議会と谷村工業高校とで協定を結んでいる。本町でも、災害時には一人でも多くの救援活動の要員を必要とするので、今後、甲府昭和高校の意向や受入体制の窓口になる社会福祉協議会と協議し、進めていきたい。

その後

平成22年8月12日、角野町長が見守る中、町社会福祉協議会と甲府昭和高校による災害時の協働体制に基づく救援活動に関する協定調印式が町長室で行われた。

追跡①

「緑豊かな田園都市昭和町」で 農家をサポートしてもらいたい

(平成21年3月議会 質問者:遠藤辰男議員)

問 日本の農業が見直される時代になり、町でも、食の安全安心や安定供給を考え、積極的に耕作していただき、緑豊かな町づくりをしてもらいたい。稲の苗代の補助など助成制度を行う考えはないか。

答 農地の保全是、町の重要な施策と考える。転作奨励金や農業団体組織に対する補助や助成制度を行っているが、町の総合的な農業振興を図る方策として、農業振興地域内の農家に対する助成制度の創設は厳しい財政状況だが、早急に考えていきたい。

その後

町独自政策！！

「昭和町農業振興地域保全助成金」

町内に住所を有し、市街化調整区域の自作耕作田を500㎡以上所有している農業者に助成金を交付する。

助成金の額(10aあたり8,000円) 対象のうち100㎡につき800円を乗じて得た額とし、80,000円を上限とする。

現地調査を行い、該当者になった場合、秋に交付される(実績は別表)。

昭和町農業振興地域保全助成金申請状況(平成22年7月31日現在)

対象農家	申請農家	申請率	申請面積	申請金額
342	182	53%	454,782㎡	3,629,800円

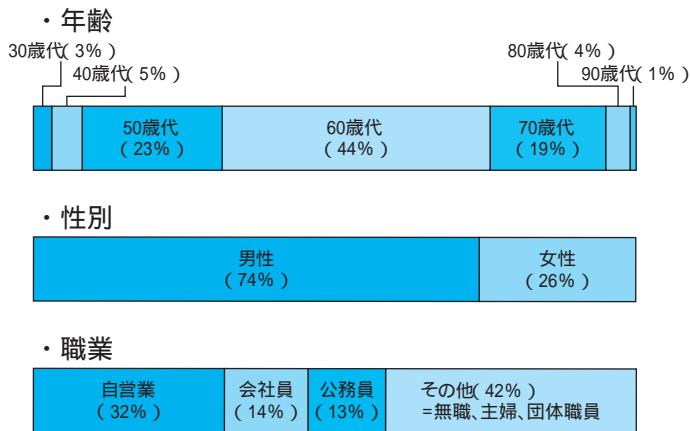
みんなで
田植え



昭和町議会アンケート

7月17日に行われた「議会活動報告会」の参加者に、昭和町議会の現状などについて調査をしたものです。

Q1. あなたの年齢、性別、職業を教えてください。



Q2. 議会を傍聴したことはありますか。

- ・ある (58%)
- ・ない (42%)

Q3. 議会を傍聴しない方の理由

- ・土、日、祝日に開催されれば行く (51%)
- ・夜間に開催されれば行く (37%)
- ・いつ開催されても行かない (3%)
- ・その他 (9%)

Q4. 町議会の活動を評価するか。

- ・評価する (59%)
- ・ある程度評価する (33%)
- ・あまり評価しない (8%)
- ・全く評価しない (0%)

Q5. 自分が選んだ議員の活動に満足ですか。

- ・満足 (72%)
- ・不満足 (6%)
- ・わからない (21%)

Q6. 議員と住民との対話集会「井戸端会議」に出席は？

- ・参加した (50%)
- ・聞いたことはある (45%)
- ・まったく知らない (5%)

Q7. 「議会だより しょうわ」を読んでいますか。

- ・すみずみまで読む (54%)
- ・一部だけ読む (43%)
- ・読まない (3%)

まとめ

町議会活動を「評価」「ある程度評価」が90%を超え、議員活動も「満足」70%以上と、全体的に町民の議会に対する評価が高かったといえます。

議会改革にも肯定的な評価で、町民に理解されていることがうかがわれます。反面、前回無作為抽出で行ったアンケート調査では、議会改革の取り組みが十分に町民に伝わっていない現状もあり、改革に挑み続ける「挑戦する議会」を目指す姿勢が求められています。

今後も議会改革を通じ、議会自体と議員の「議員力」向上を念頭に、町民に信頼される議会を目指していきます。

議会クイズ

議会クイズを始めました！ぜひご応募ください。

正解者の中から抽選で5人の方に図書カードをお送りいたします。

空欄に適切な言葉を入れてください。

ヒント 議会だよりを読んでください

- 平成21年度一般会計決算総額約 億円
- 県下初制定の議会 条例
- 今議会の一般質問は 曜日に行った
- 教育厚生常任委員会が、 区の井戸端会議を受け現地調査
- 社会福祉協議会と甲府 高校による、災害時の協働体制に基づく救援活動に関する協定調印式

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
《しめきり》

11月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



躍進する昭和町



飯喰区

今澤百合子さん

河東中島から嫁いで43年過ぎました。夫の勤めの関係で6年ほど東京に在住し、懐かしの故郷に帰ってきましたが、主人に先立たれてしまい、夫の代役に戸惑っている私どもに、皆さんがやさしく声をかけてくれて、地域の方々には大変感謝しております。

当時はまだ見渡す限りの田園地帯でしたが、時代の流れとともに区画整理事業が進み、来年春には常永地区に大型ショッピングセンターが開店されます。

これらの発展は行政と町民の情報交換が、多方面にわたって行われた結果だと思えます。昭和町は「住みよい町づくり」をモットーにしている、産業・教育・文化・福祉にあらゆる面でとても充実しています。

若者が住みたい町 1は、昭和町とよく耳にします。主人にもこんな発展した町を、「一目見せてあげたかった」と昔を懐かしみながら、今日もまたウォーキングに励んでいます。

地域がどんなに発展しても、自然や人の心はいつまでも変わらない昭和町でいてほしいものです。

青空と緑と産業の町



押越区

坂本 武徳さん

昭和町に住み、四半世紀の時が流れた。

私の好きな風景は富士山と田んぼである。我が家から見える山々の後ろに、頂上をボツリと見ることのできる富士山。私の楽しみであったが、このところは近隣に家が建ち並び、容易に眺められなくなったのは、少し残念である。しかし、もう一つの楽しみはまだ健在である。

田植え後の風になびく稲を眺め、その夜には力エルの大合唱。秋には実った稲穂が頭をたれている姿を眺めることができることは、何よりの贅沢である。贅沢といえば、我が家の裏にある猫の額ほどの家庭菜園もそうである。季節の野菜を収穫し、自己流に調理した料理に舌鼓している。また毎年新しい野菜づくりにもチャレンジしている。昨年はゴボウで、今年はシヨウガ。いつも出来栄はいまひとつであるが楽しい。こんな贅沢ができる昭和町を私は好きである。それだけにこの贅沢な風景を、キャッチフレーズにあるように、産業とマッチさせながら、町づくりを推進していってほしいと思う。

編集ノート

今年の今ごろは、新型インフルエンザの流行で各種イベントが中止となるなど心配な日々を過ごしたものです。今年はその心配がないことを願いたいものです。夏の猛暑の影響がいろいろ出たように思います。山の木々はどうでしょう。厳しい条件の中、頑張りぬいた山の木々、必ずきれいに色づいて、わたしたちを楽しませてくれると思います。

さて、議会ではかねてより調査研究してきました基本条例を制定しました。これ、十分とは思いませんが、活発に活動し、少しでも町民の福祉向上につなげようという意気込みは感じていただけたと思います。残り任期中の議会だよりもあとわずかですが、精一杯お伝えしていきたいと思っております。(塩澤浩・記)

- 広報編集委員会
委員長 河田あけみ
副委員長 河住 保茂
委員 萩原 馨
野中 敏美

- 委員 塩澤 保坂 明子 浩

議会を傍聴
しませんか

次回定例会は
12月7日(火)
開会予定です

手続きは2階本会議場入口で
住所と名前を書くだけです。

